

## 子どもたちの心のケアについて

総合支援課

## 1 カウンセリングが必要な児童生徒数の調査結果

	1回目(5/13)	2回目(6/3)	3回目(7/7)
必要数(人)	2,143	1,834	
新しく必要となった人数		1,215	

## 2 スクールカウンセラーの配置について

- (1) 学校再開後は、学校心理士会の協力も得て、すべての中学校区を対象にカウンセラーを派遣した。
- (2) 5月16日(月)から18日(水)までの3日間は、カウンセリングが必要な児童生徒の多い学校に重点的に、臨床心理士会のカウンセラーを含め27人を29校に配置した。
- (3) 5月23日(月)からは、全国の臨床心理士会のカウンセラー31人～32人を含め、スクールカウンセラーを全ての中学校区に配置している。
- (4) 現体制を7月22日まで継続する。その後は、子どもたちの状況を確認しながら適切に対応できる体制を整える。

## 3 今後の配置について

- (1) 6月29日(水)に小中学校校長代表各1名、小中学校養護教諭代表各1名、熊本市スクールカウンセラー代表2名と総合支援課とで「子どもの心のケア推進会議」を実施し、現時点での成果や課題と今後の子どもたちの心のケアのあり方について話し合った。
- (2) 7月4日(月)に第2回熊本市スクールカウンセラー連絡協議会を開催し、総合支援課よりこれまでの経緯等を説明し、熊本市のスクールカウンセラーが中長期的にどのようにかかわっていくべきかということを話し合った。
- (3) 7月7日(木)締め切りで、3回目のカウンセリングが必要な児童生徒数を調査した。この結果と(1)(2)の会議で出された意見等を踏まえて、今後のスクールカウンセラーの配置を検討していく。